

KDDI Smart Mobile Safety Manager

iPhone/iPad 向けユーザーマニュアル

最終更新日 2015 年 9 月 24 日
Document ver.2.23

変更履歴

日付	Document ver.	変更箇所	変更内容
2012/09/05	2.00	プロフィールについて	新規追加
		表紙	Document ver.を追加
2012/09/27	2.01	iPhone/iPad 動作環境	対応 OS に iOS6.0、iPhone5 を追加 バージョン表記を統一
2012/11/30	2.02	iPhone/iPad 動作環境	対応 OS の表記を iOS6.0 から iOS6.x へ変更
		プロフィールについて	iOS エージェント追加に伴い、タイトルを「プロフィール、エージェントについて」へ変更 エージェントについての説明を追加
		エージェント認証を行う エージェントを起動する エージェントの基本情報を確認する メッセージを確認する エージェントのバージョン情報を確認する エージェントのアンインストールを行う	iOS エージェント追加に伴い、新規追加
2012/12/05	2.03	エージェント認証を行う	手順 3: 注釈の内容を修正 手順 7: 画像に(A)を追加。位置情報の取得契機について追加
2012/12/18	2.04	iPhone/iPad 動作環境	iPad Retina (第 4 世代)を追加
2013/1/10	2.05	よくある質問と回答	Q7 を追加
2013/2/12	2.06	iPhone/iPad 動作環境	iPad mini を追加
2013/2/27	2.07	プロフィール、ポータル、エージェントについて	タイトルを「プロフィール、エージェントについて」から「プロフィール、ポータル、エージェントについて」へ変更 ポータル機能についての表記を追加
		ライセンス認証を行う	手順 11-14 を追加
		ユーザー情報の登録を行う 機器情報の登録を行う 配信されたアプリケーションのインストールを行う	新規追加
2013/8/20	2.08	ライセンス認証(プロフィールのインストール)を行う	手順 3-8 にデバイスマネジメントパックに「検証済み」と表示される期限について注釈を追記 手順 11 にデバイスマネジメントパック版ではご利用いただけない旨の注釈を追加 冒頭の説明に認証制御設定について注釈を追加。

		ユーザー情報の登録を行う	デバイスマネジメントパック版ではご利用いただけない旨の注釈を追加 冒頭の説明にポータル表示設定が非表示になっている場合について注釈を追加。
		機器情報の登録を行う	冒頭の説明にポータル表示設定が非表示になっている場合について注釈を追加。
		エージェント認証を行う	手順 4 を変更
		iPhone/iPad 動作環境	対応言語を追加
2013/10/9	2.09	プロファイル、ポータル、エージェントについて	ポータルで行うことに「配信構成プロファイルのインストール」を追加
		配信構成プロファイルのインストール	新規追加
		ライセンス認証を行う	手順 12、13 に注釈追加、手順 14 以降を変更
		エージェント認証を行う	ポータル画面からの認証方法を追記、「認証コード」を「アクティベーションコード」へ変更
		全体	ポータル画面変更に伴い画像張替
		iPhone/iPad 動作環境	iOS 7.x,iPhone5S,iPhone5C を追加
2013/12/16	2.10	iPhone/iPad 動作環境	iPad Air を追加
		エージェント認証を行う	≪App Store から直接インストールする場合≫の手順 3 にて DMP 版の URL を注釈として追記
2014/1/8	2.11	エージェント認証を行う	手順 8 の位置情報取得契機についての記載を変更
2014/2/4	2.12	全体	画面を変更
2014/2/17	2.13	エージェントのバージョン情報を確認する	エージェントのバージョン表示画面のスクリーンキャプチャを更新
2014/6/4	2.14	+browser Safety Manager for iOS	新規作成。iOS 用のブラウザ名を「+browser Safety Manager for iOS」で統一。
		ライセンス認証(MDM構成プロファイルのインストール)を行う	注釈を追加
2014/6/4	2.15	全体	レイアウト調整
2014/6/4	2.15	+browser Safety Manager for iOS	ブックマーク、URL に関する情報を追加

2014/08/27	2.16	エージェントをインストールする	認証コードによる認証方法を変更。 ユーザーIDによるライセンス認証方法を追加。
		ポータルで行うこと iOS エージェントで行うこと	「ポータルとエージェントで行うこと」に統合
		VPP アプリケーションの割り当てを許可する	新規追加
		エージェントのバージョン情報を確認する メッセージを確認する エージェントの基本情報を確認する	エージェントからの画面確認方法を変更。
	2.17	VPP アプリケーションの割り当てを許可する	UI 表記を修正。
		エージェントの基本情報確認	JailBreak 検知情報、位置情報取得について追記。
2014/09/18	2.18	iPhone/iPad 動作環境	対応端末、OS を追記
2014/10/1	2.19	iPhone/iPad 動作環境	対応機種へ「iPhone 6」、「iPhone 6 Plus」を追記
2014/12/12	2.19	iPhone/iPad 動作環境	対応機種へ「iPad mini 2」、「iPad Air 2」を追記
		+browser Safety Manager for iOS を使用する	エージェント認証に関する記載を追加
2015/1/29	2.20	ロック画面の見かた	新規追加
		配信されたアプリケーションのインストールを行う	配信アプリケーションの記述を追加
		ライセンス認証(MDM 構成プロファイルのインストール)を行う/エージェント認証を行う	位置情報の取得許可に関する記述を追加
2015/3/4	2.21	ライセンス認証(プロファイルのインストール)を行う	バックグラウンド更新設定について追記
2015/3/20	2.21	対応 OS	iOS8.x に変更
2015/3/20	2.21	対象 OS	iOS8.x を追記
2015/3/20	2.21	ライセンス認証を行う (手順 20)	文言修正：(修正前)[設定]画面の[一般]以下の[App のバックグラウンド更新]画面を表示します。
2015/4/8	2.22	概要	DEP マニュアルに関する記載を追記。
2015/9/24	2.23	はじめに - iPhone/iPad エージェント動作環境	対応 OS を変更(iOS 5.1~5.x、iOS 6.x、iOS 7.x、iOS 8.x)。

		管理サイトとの同期を行う	セクションを新規追加。
		配信されたアプリケーションのインストールを行う	同期に関する注意を追記。
		+browser Safety Manager for iOS 動作環境	対象 OS を「iOS5.1.1 以降」に変更。
		管理サイトとの同期を行う、配信されたアプリケーションのインストール、配信された構成プロファイルのインストール	ポータルが有効でない場合の注意文を追加・編集。

変更履歴.....	2
はじめに	8
概要.....	9
特徴.....	9
iPhone/iPad エージェント動作環境	10
+browser Safety Manager for iOS 動作環境.....	10
本マニュアルの見かた.....	10
MDM 構成プロファイル、ポータル、エージェントについて.....	11
<u>ライセンス認証(MDM 構成プロファイルの インストール)を行う.....</u>	<u>13</u>
<u>エージェント認証を行う</u>	<u>24</u>
<u>エージェントを起動する</u>	<u>29</u>
<u>エージェントの基本情報を確認する</u>	<u>31</u>
<u>メッセージを確認する</u>	<u>33</u>
メッセージを確認する.....	34
未開封メッセージが通知された場合	36
<u>エージェントのバージョン情報を確認する.....</u>	<u>37</u>
<u>ロック画面の見かた.....</u>	<u>39</u>
ロック画面の見かた	40
<u>+browser Safety Manager for iOS を使用する.....</u>	<u>42</u>
インストールする	43
メイン画面	44
設定画面.....	45
アンインストールする.....	46
<u>ユーザー情報の登録を行う.....</u>	<u>47</u>
<u>機器情報の登録を行う</u>	<u>50</u>
<u>管理サイトとの同期を行う.....</u>	<u>53</u>
<u>配信されたアプリケーションのインストールを行う</u>	<u>55</u>
<u>配信された構成プロファイルのインストールを行う</u>	<u>57</u>
<u>VPP アプリケーションの割り当てを許可する</u>	<u>59</u>
<u>MDM 構成プロファイルのアンインストールを行う.....</u>	<u>62</u>
<u>エージェントのアンインストールを行う</u>	<u>65</u>

<u>困った時は…</u>	<u>67</u>
よくある質問と回答	68
用語集	70

はじめに

概要.....	9
特徴.....	9
iPhone/iPad エージェント動作環境	10
+browser Safety Manager for iOS 動作環境.....	10
本マニュアルの見かた.....	10
MDM 構成プロファイル、ポータル、エージェントについて.....	11

概要

KDDI Smart Mobile Safety Manager(以下、本製品と呼ぶ)とは専門の知識を必要とせずに、スマートデバイスの管理・運用を行うサポートサービスです。KDDI Smart Mobile Safety Manager 管理サイト(以下、管理サイトと呼ぶ)では、スマートデバイス(iPhone/iPad、Android 端末など)の管理・運用を行います。管理サイトよりリモートロックやリモートワイプ(初期化)をすることができます。

本書は、iPhone/iPad の操作マニュアルです。管理サイトの操作マニュアルは管理サイトからダウンロードしてください。

※Apple 社の提供する「Device Enrollment Program (DEP)」を使用した機器管理に関しては「KDDI Smart Mobile Safety Manager DEP 導入マニュアル」を参照してください。

特徴

◆リモートロック

iPhone/iPad を紛失してしまい手元にない場合も、管理サイトからロックをすることができます。

◆リモートワイプ

管理サイトから iPhone/iPad を初期化することができます。

◆機器管理

管理サイト上で、機器にユーザーやグループを設定することで iPhone/iPad の資産管理を容易に行うことができます。

iPhone/iPad エージェント動作環境

対応機種	iPhone 3GS iPhone 4 iPhone 4S iPhone 5 iPhone 5S iPhone 5C iPhone 6 iPhone 6 Plus iPad iPad 2 iPad (第 3 世代) iPad Retina (第 4 世代) iPad mini iPad mini 2 iPad Air iPad Air2
対応 OS	iOS 5.1.1~5.x、iOS 6.x、iOS 7.x、iOS 8.x
対応言語	日本語／英語／簡体中文／繁体中文 上記以外の言語に切り替えた場合は、英語表記となります。

+browser Safety Manager for iOS 動作環境

対象 OS	iOS5.1.1 以降
-------	-------------

本マニュアルの見かた

ボタン名、リンク名、タブ名などは[]で表記します。

画面上のバージョン表記は実際のものとは異なる場合があります。

MDM 構成プロファイル、ポータル、エージェントについて

本製品を iPhone/iPad で利用するには、iPhone/iPad に MDM 構成プロファイルをインストールする必要があります。管理サイトで、ポータル機能を使用する設定になっている場合は、MDM 構成プロファイルをインストールすると自動的にポータルが配信されます。(※使用しない設定になっている場合は、ポータルは配信されません。ポータル機能の設定については、管理者にお問い合わせください。)

また、更にメッセージ機能等を利用する場合は iOS エージェントを入れる必要があります。

MDM 構成プロファイル、ポータル、iOS エージェントで行うことは下記の通りです。

《MDM 構成プロファイルで行うこと》

概要	説明	ページ番号
iOS 端末の情報の収集	定期的に iOS 端末の情報を取得してサーバーに送信します。	-
iOS 端末の設定	定期的にサーバーから設定を取得して、iOS 端末に設定します。	-

《ポータルで行うこと》

概要	説明	ページ番号
エージェントのインストール	エージェントのインストールを行います。(App Store に画面が遷移し、実際には App Store からインストールを行います。)	24
エージェント認証	エージェントの認証を行います。	24
機器情報登録	機器情報の登録、変更を行います。	50
配信アプリケーションのインストール	管理サイトから配信されたアプリケーションのインストールを行います。	55
配信構成プロファイルのインストール	管理サイトから配信された構成プロファイルのインストールを行います。	57

《エージェントで行うこと》

概要	説明	ページ番号
エージェント認証※	エージェントの認証を行います。	24
エージェントの基本情報確認	機器情報、JailBreak 検知情報、位置情報、ユーザー情報、更新情報の確認を行います。	31
メッセージ確認	管理サイトから配信されたメッセージの確認を行います。	33
エージェントバージョン情報確認	エージェントのバージョン情報の確認を行います。	37

※エージェント単体での認証で、アクティベーションコードを手動で入力することで認証することが可能です。

《ブラウザで行うこと》

概要	説明	ページ番号
Web フィルタリング	ブラウザがアクセスできる URL を制限します。	42
Web 閲覧履歴	ブラウザがアクセスした URL を管理サイトに送信します。	
お気に入り	ブラウザのお気に入り情報を管理サイトに送信します。	

※+browser Safety Manager for iOS をインストールする前に、必ずエージェント認証を行ってください。

ライセンス認証(MDM 構成プロファイルの
インストール)を行う

下記の手順に従ってライセンス認証(MDM 構成プロファイルのインストール)を行ってください。

※管理サイトの認証制御設定で管理者が登録した機器のみ認証する設定になっている場合は、ライセンス認証前に、管理者に端末を事前に登録していただく必要があります。なお、デバイスマネジメントパック版では、ライセンス認証前に必ず事前登録していただく必要があります。詳細は管理者にお問い合わせください。

※デバイスマネジメントパック版では「企業コード、認証コードで認証する場合」から認証してください。

1 ≪企業コード、認証コードで認証する場合≫

①[Safari]を起動し、ライセンス認証ページを開きます。

※ライセンス認証ページのアドレスは管理者またはオペレーターにお問い合わせください。

②[利用規約]をタップし、規約を確認します。

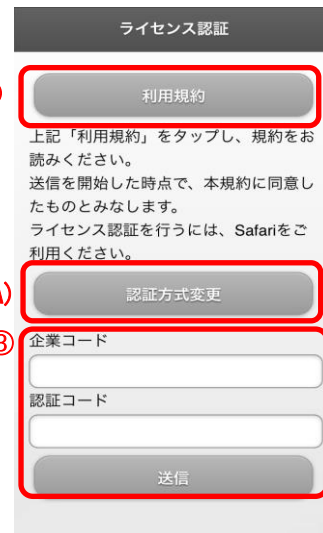
※送信を開始した時点で、本規約に同意したものとみなします。

③企業コード、認証コードを入力し、[送信]をタップします。

※企業コード、認証コードは管理者にお問い合わせください。

※使用状況によっては「企業コード」は表示されない場合があります。

※ユーザーIDまたはメールアドレス、パスワードが表示されている場合は、[認証方式変更](A)をタップします。



≪ユーザーIDまたはメールアドレスでログインする場合≫

①[Safari]を起動し、ライセンス認証ページを開きます。

※ライセンス認証ページのアドレスは管理者またはオペレーターにお問い合わせください。

②[利用規約]をタップし、規約を確認します。

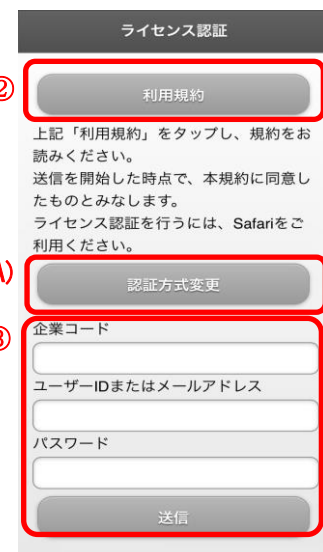
※送信を開始した時点で、本規約に同意したものとみなします。

③企業コード、ユーザーIDまたはメールアドレス、パスワードを入力し、[送信]をタップします。

※企業コード、ユーザーIDまたはメールアドレス、パスワードは管理者にお問い合わせください。

※ユーザーIDまたはメールアドレス以外のライセンス認証を行う場合は[認証方式変更](A)をタップします。

※企業コード、ユーザーIDまたはメールアドレス、パスワードは管理者にお問い合わせください。

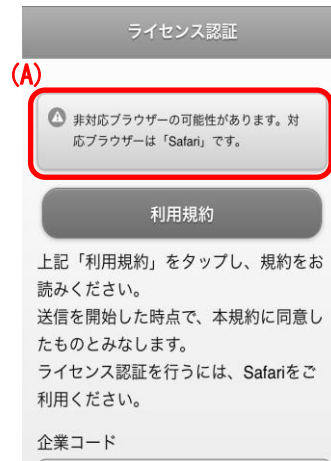


ライセンス認証を行う(つづき)

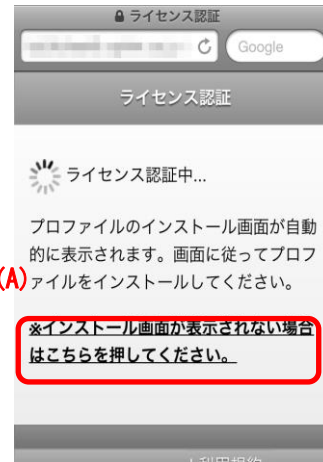
《safari 以外のブラウザの場合》

[Safari]以外のブラウザではライセンス認証ページを表示することができません(A)。

[Safari]を起動し、ライセンス認証ページを再度表示してください。



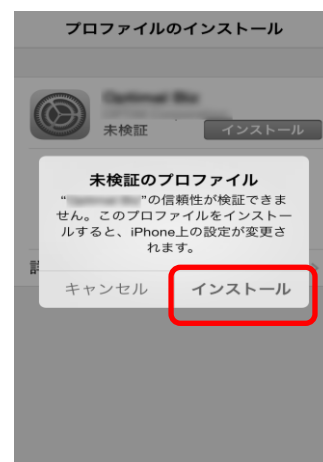
- 2 自動的にインストール画面が表示されます。
しばらくお待ちください。
インストール画面が表示されない場合は、(A)をタップします。



- 3 [インストール]をタップします。
※表記上「未検証」とでていても「検証済み」とでていても、問題ございません。そのまま操作を続けてください。



- 4 [インストール]をタップします。
※パスコードが設定されている場合は、パスコード入力画面が表示されますのでパスコードを入力してください。
※表記上「未検証」とでていても「検証済み」とでていても、問題ございません。そのまま操作を続けてください。



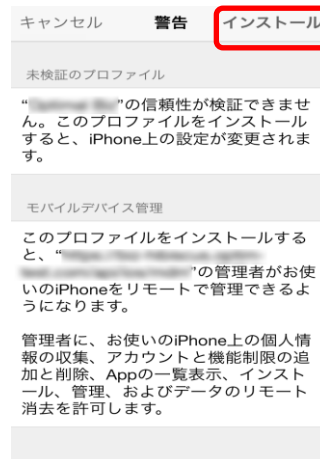
5 インストールをしています。しばらくお待ちください。

※表記上「未検証」とでていても「検証済み」とでていても、問題ございません。そのまま操作を続けてください。



6 内容を確認し、[インストール]をタップします。

※表記上「未検証のプロファイル」とでている場合もございませ
が、問題ございません。そのまま操作を続けてください。



7 しばらくお待ちください。

※表記上「未検証」とでていても「検証済み」とでていても、問題ご
ざいませ。そのまま操作を続けてください。



8

インストールが完了しました。

[完了]をタップします。

※表記上「未検証」とでていても「検証済み」とでていても、問題ございません。そのまま操作を続けてください。



9

ライセンス認証を行っています。



10

ライセンス認証が完了しました。ホームボタンをタップしてホーム画面に戻ります。

※ポータル使用時はこの画面は表示されず、手順 11 に進みます。

ポータルを使用しているかどうかは、管理サイトの設定により異なります。管理者にお問い合わせください。



11

ユーザー登録を行います。

※ポータルを使用していない場合は、手順 11 以降の画面は表示されません。ポータルを使用しているかどうかは、管理サイトの設定により異なります。管理者にお問い合わせください。

※デバイスマネジメントパック版では、ユーザー登録画面は表示されません。

《ユーザーが登録されていない場合》

- ①必要事項を入力します。
- ②[次へ]をタップします。

《ユーザーが既に登録されている場合》

別のユーザーを登録する場合は、[別のユーザーを登録する]をタップします。

- ①必要事項を入力します。
- ②[次へ]をタップします。

【企業名】
機器1 [XXXXXXXXXX]

ユーザー登録

①

社員番号
姓
名

②

次へ

初期登録

【企業名】
機器1 [XXXXXXXXXX]

この機器には既にユーザーが登録されています。

山田 太郎 (00001)

別のユーザーを登録する

利用規約

【企業名】
機器1 [XXXXXXXXXX]

ユーザー登録

社員番号
姓
名

次へ

12

機器情報の登録を行います。

- ①必要事項を入力します。
- ②[次へ]をタップします。

※ポータルを使用していない場合は、機器情報登録画面は表示されません。ポータルを使用しているかどうかは、管理サイトの設定により異なります。管理者にお問い合わせください。

※機器カスタム項目が登録されていない場合は表示されません。

※機器情報登録の表示内容は設定により異なります。

ライセンス認証

【企業名】
機器1 [XXXXXXXXXX]

① 機器情報登録

機器分類1
(未分類) ▼

自由入力項目1
*自由入力項目1です。

② 次へ

13

登録が完了しました。

[OK]をタップします。

※エージェント機能をご利用されない場合、以降の手順は不要です。

初期登録

【企業名】
機器1 [XXXXXXXXXX]

登録が完了しました。

分類1
グループ1

自由入力項目1
(なし)

次へ

14

[App Store からインストール]をタップします。

App Store 画面へ移ります。App Store のインストール手順に従い、インストールを行ってください。

エージェント (Agent for MDM) の
認証を行ってください。
これからエージェントをインストールする場合は、インストール後に再度この画面からエージェントを起動してください。

App Storeからインストール

起動して認証

※iOSエージェント ver 5.8.0.2 以降がインストールされている必要があります。

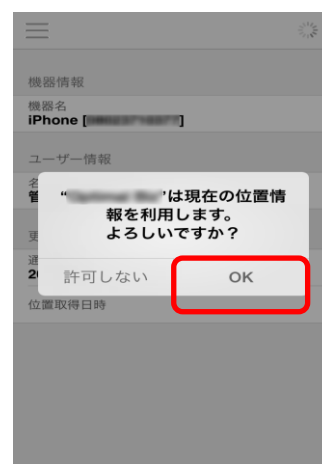
- 15 App Store からエージェントインストール完了後、ブラウザを開き、手順 14 で開いていた画面を再度開きます。
[起動して認証]をタップします。



- 16 エージェント認証中です。
しばらくお待ちください。



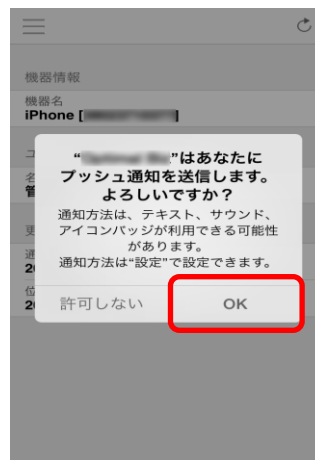
- 17 [OK]をタップします。
※このプロンプトで[OK]をタップしない場合は位置情報を取得できません。必ず[OK]をタップしてください。



18 右記のようなポップアップ画面が表示されます。
[OK]をタップします。

※一度[OK]をタップすると、再度エージェントを起動する際には、ポップアップ画面は表示されません。

※メッセージ機能を使用する場合は、必ず[OK]をタップしてください。[OK]をタップしない場合、メッセージ受信時、端末側に通知が表示されません。



19 エージェント認証が完了しました。
エージェント認証完了後は、自動的に位置情報を取得し、機器情報、ユーザー情報、メッセージの更新が行われます。

以降は、定期的に更新が行われます。

(A)をタップすると、手動で更新を行います。

※ユーザー情報は、管理サイト側で登録されていない場合は表示されません。



20 iPhone/iPad のホーム画面から[設定]をタップします。[設定]画面の[一般]の[App のバックグラウンド更新]画面を表示します。

エージェント (KDDIManger) のバックグラウンド更新設定が有効であることを確認してください。この設定がオフである場合、エージェントは正確に位置情報を取得できません。



21

iPhone/iPad のホーム画面には[ポータル]とエージェントアイコン[KDDIManager]が追加されます。

※エージェントをインストールしていない場合は、エージェントアイコン[KDDIManager]は表示されません。



エージェント認証を行う

MDM 構成プロファイルインストール後にエージェント認証を行った場合は、本章の操作は不要です。
エージェント認証をまだ行っていない場合は、本章に従い、認証を行ってください。

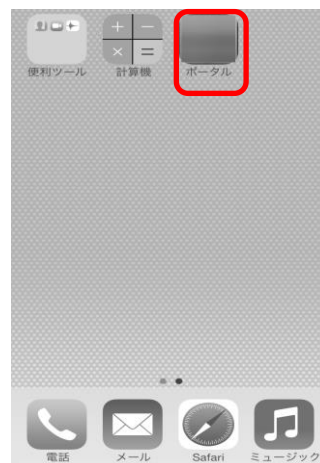
エージェント認証を行うにはライセンス認証が必要です。まだライセンス認証を行っていない場合は、13ページ「ライセンス認証(MDM 構成プロファイルのインストール)を行う」を参照し、ライセンス認証を行ってください。

エージェント認証を行うには、ポータル画面から行う方法と、App Store から直接インストールを行う方法があります。特に指定がない場合、企業コード等の入力が不要なポータル画面からのインストールをお勧めします。

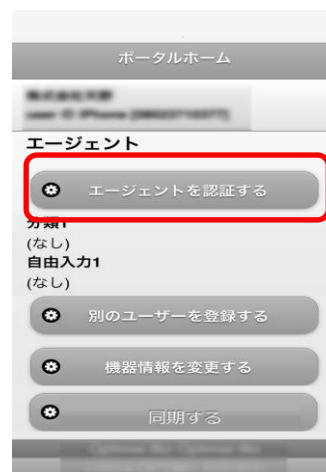
※バージョン 5.8.0.2 未満のエージェント認証を行う場合は、ポータル画面からの認証が行えません。エージェントを起動後、企業コード、認証コード等を入力し、エージェント認証を行ってください。エージェントのバージョン情報の確認方法は、「エージェントのバージョン情報を確認する」37 ページを参照してください。

《ポータル画面からインストールする場合》

1 [ポータル]をタップします。



2 [エージェントを認証する]をタップします。



- 3 [App Store からインストール]をタップします。
App Store 画面へ移ります。App Store のインストール手順に従い、インストールを行ってください。



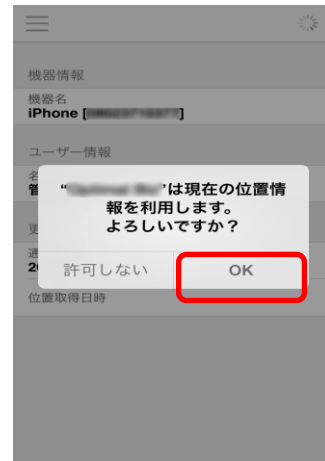
- 4 App Store からエージェントインストール完了後、再度ブラウザを開き、手順3で開いていた画面を開きます。
[起動して認証]をタップします。



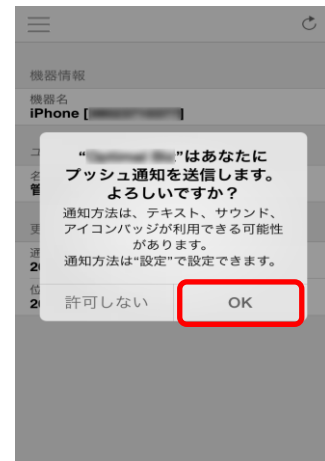
- 5 エージェント認証を行っています。
しばらくお待ちください。



- 6 [OK]をタップします。
※このプロンプトで[OK]をタップしない場合は位置情報を取得できません。必ず[OK]をタップしてください。



- 7 右記のようなポップアップ画面が表示されます。
[OK]をタップします。
※一度[OK]をタップすると、再度エージェントを起動する際には、ポップアップ画面は表示されません。
※メッセージ機能を使用する場合は、必ず[OK]をタップしてください。[OK]をタップしない場合、メッセージ受信時、端末側に通知が表示されません。



- 8 エージェント認証が完了しました。
エージェント認証完了後は、自動的に位置情報を取得し(※1)、機器情報、ユーザー情報、メッセージの更新が行われます。以降は、定期的に更新が行われます。(A)をタップすると、手動で更新を行います。
※ユーザー情報は、管理サイト側で登録されていない場合は表示されません。
(※1)位置情報の取得契機については下記の通りです。
a. エージェント認証した場合
b. メッセージを確認するためにエージェントを起動した場合(メッセージの確認方法については「メッセージを確認する」33 ページを参照してください。)
c. エージェントから手動同期を行った場合((A)クリックで手動同期します。)
d. 基地局が変わり、かつ前回の同期からおよそ1分以上経過していた場合



《App Store から直接インストールする場合》

1 [App Store] から「KDDI Smart Mobile Safety Manager」(エージェント)をインストールします。

※手順は App Store のインストール手順に従ってください。



2 エージェントがインストールされました。
エージェントアイコン(KDDI Manager)をタップし、
エージェントを起動します。



3 ①企業コード、アクティベーションコードを入力します。

URL 入力欄(A)をタップすると、URL 選択画面(B)が表示されますので、該当のサービスを選択し、[完了](C)をタップします。

※企業コード、アクティベーションコードは管理者にお問い合わせください。

※デバイスマネジメントパック版の URL は

「<https://ausl.smsportal.jp>」となります。

※[直接入力](D)をタップすると、URL 欄に直接入力することができます。



②[送信]をタップします。

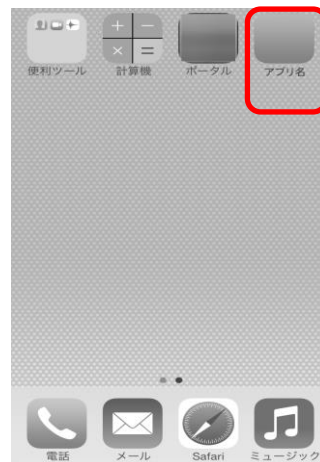
以降のフローは、《ポータルからインストールする場合》の手順 5 以降を参照してください。

エージェントを起動する

本機能の使用には iOS 端末側に iOS エージェントのインストールが必要です。iOS エージェントのインストール方法は「エージェント認証を行う」24 ページを参照してください。

エージェントを起動するには以下の操作を行います。

- 1 エージェントアイコン(KDDIManager)をタップします。



- 2 エージェントが起動されました。
※iOS エージェントが提供する機能を利用するにはiOS エージェントが起動している必要があります。マルチタスク表示などから iOS エージェントを終了した場合は、再度、本手順に沿って、iOS エージェントを起動してください。



エージェントの基本情報を確認する

本機能の使用には iOS 端末側に iOS エージェントのインストールが必要です。iOS エージェントのインストール方法は「エージェント認証を行う」24 ページを参照してください。

エージェント基本情報(機器情報、ユーザー情報、更新情報)を確認するには以下の操作を行います。

- 1 エージェントを起動し、[ホーム]をタップします。
※エージェントの起動方法は「エージェントを起動する」29 ページを参照してください。



- 2 エージェント基本情報が表示されました。



メッセージを確認する

オプション

本機能の使用には iOS 端末側に iOS エージェントのインストールが必要です。iOS エージェントのインストール方法は「エージェント認証を行う」24 ページを参照してください。

メッセージを確認する	34
未開封メッセージが通知された場合	36

メッセージを確認する

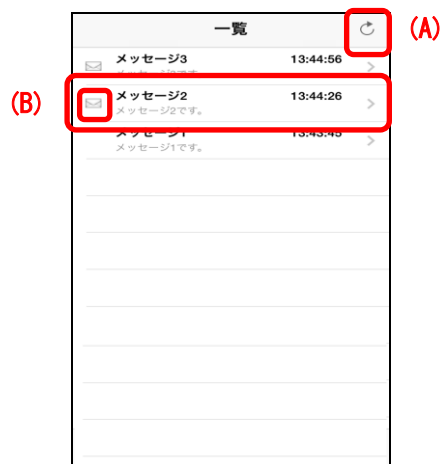
本サービスでは、管理サイトからメッセージが配信される場合があります。管理サイトから配信されたメッセージを確認する場合は、以下の操作を行います。

- 1 エージェントを起動し、[メッセージ]をタップします。
※エージェントの起動方法は「エージェントを起動する」29ページを参照してください。

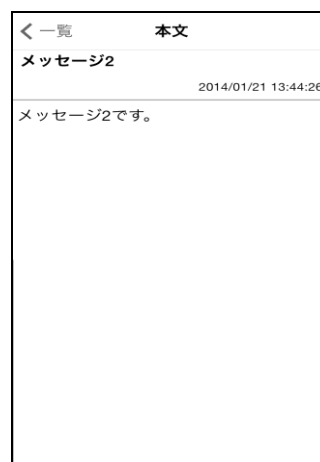


《iPhone の場合》

- 2 確認するメッセージをタップします。
※メッセージを更新するには(A)をタップします。機器情報、ユーザー情報もあわせて更新されます。
※未開封のメッセージにはメッセージタイトルの左にメールアイコン(B)が表示されます。



- 3 メッセージが表示されました。

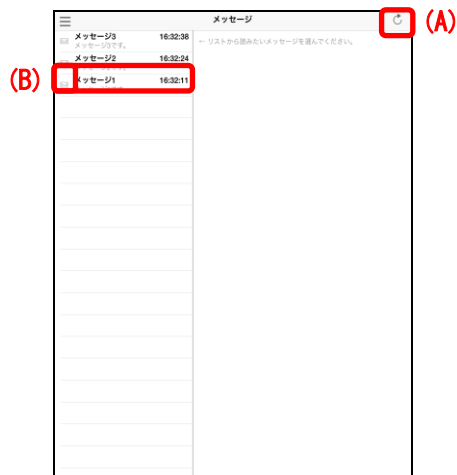


《iPad の場合》

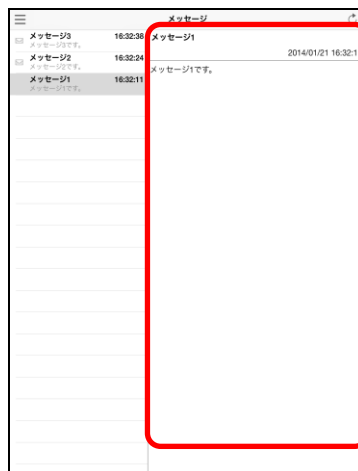
2 確認するメッセージをタップします。

※メッセージを更新するには(A)をタップします。機器情報、ユーザー情報もあわせて更新されます。

※未開封のメッセージにはメッセージタイトルの左にメールアイコン(B)が表示されます。



3 メッセージが表示されました。



未開封メッセージが通知された場合

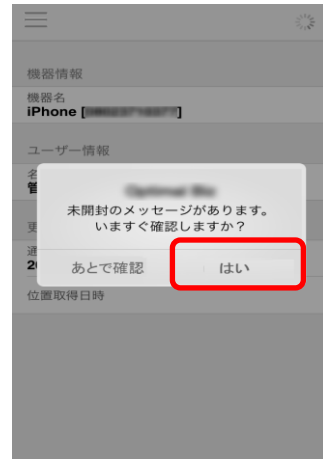
管理サイトから新しいメッセージが配信された場合や、未開封メッセージが残っている場合に、以下のようなメッセージが通知されます。手順に従い、メッセージを確認してください。

1

《アプリ起動中の場合》

今すぐ確認する場合は[はい]をタップします。

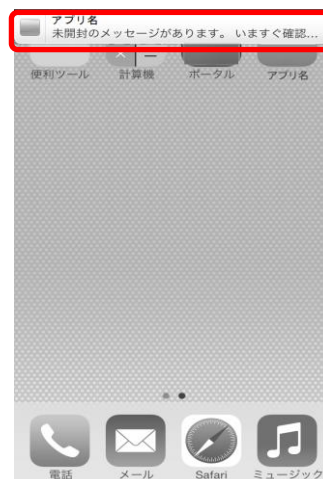
※あとで確認する場合は、[あとで確認]をタップします。メッセージの確認方法は「メッセージを確認する」34 ページを参照してください。



《アプリが起動していない場合：バナー表示》

今すぐメッセージを確認する場合は、バナーをタップします。

※バナー表示になるか、ダイアログ表示になるかは iPhone/iPad の設定により異なります。

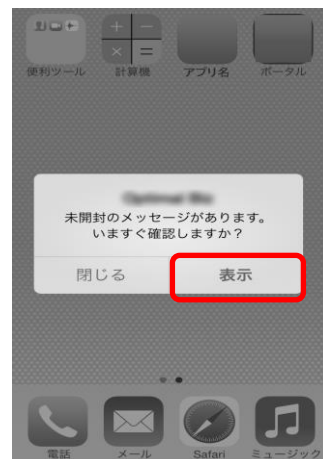


《アプリが起動していない場合：ダイアログ表示》

今すぐメッセージを確認する場合は、[表示]をタップします。

※すぐに確認しない場合は[閉じる]をタップします。メッセージの確認方法は「メッセージを確認する」34 ページを参照してください。

※バナー表示になるか、ダイアログ表示になるかは iPhone/iPad の設定により異なります。



エージェントのバージョン情報を確認する

本機能の使用には iOS 端末側に iOS エージェントのインストールが必要です。iOS エージェントのインストール方法は「エージェント認証を行う」24 ページを参照してください。

エージェントのバージョン情報を確認するには以下の操作を行います。

- 1 エージェントを起動し、[情報]をタップします。
※エージェントの起動方法は「エージェントを起動する」29 ページを参照してください。



- 2 エージェントのバージョン情報が表示されました。



ロック画面の見かた

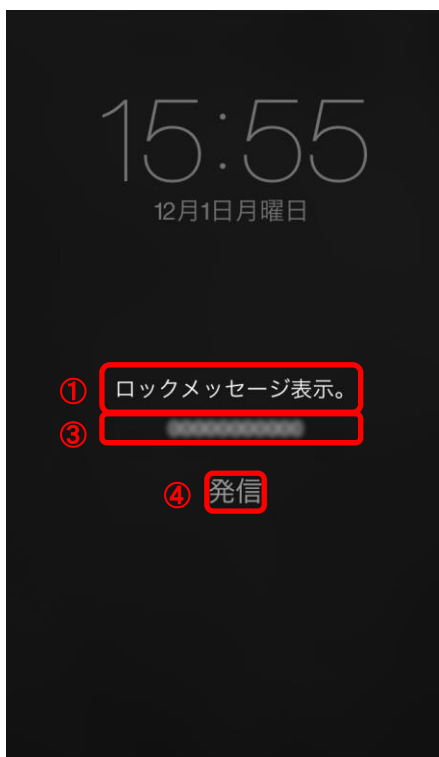
ロック画面の見かた	40
-----------------	----

ロック画面の見かた

端末の紛失時などに、リモートロック画面に連絡先を表示することが可能です。第三者が端末を発見した際などに、発見者に対する連絡を円滑に行うことが可能です。

またロック中の端末はiOSのパスコードで保護されています。

《iPhoneの場合》



《iPadの場合》



項番	対象	説明
①	ロックメッセージ	管理サイトで設定されたロックメッセージが表示されます。
②	デフォルト ロックメッセージ	iPad にデフォルトで設定されている紛失時のメッセージです。iOS のバージョンにより表示されるメッセージが異なります。
③	電話番号	紛失時の連絡先など、管理サイトで設定された電話番号が表示されます。
④	発信ボタン	タップすると③の電話番号に対して通話を行います。

※ご利用の iPhone/iPad 端末にパスコードが設定されていない場合、デフォルトのロック解除画面のみが表示されます。このため、管理者が管理サイトの機器画面で設定した連絡情報（ロックメッセージ、連絡先の電話番号）を iPhone/iPad 端末で確認することはできません。リモートロックのメッセージを受信するには、「設定」内の「一般」 「パスコードロック」から「パスコードロックをオンにする」を選択してパスコードロックを有効にします。

+browser Safety Manager for iOS を使用する

+browser Safety Manager for iOS とは、iOS 端末の標準ブラウザ(Safari)とは別にインストールするブラウザです。ブックマーク追加、お気に入り設定、セキュリティ設定等、標準ブラウザと同等の機能があります。

+browser Safety Manager for iOS を iOS 端末にインストールし、+browser Safety Manager for iOS のみの使用に制限(管理サイトのアプリケーション禁止機能を使用)することで、管理サイトの機能(Web フィルタリング、お気に入り、Web 閲覧履歴等)を使ってブラウザの使用制限等の管理が可能になります。(管理サイトの機能についての詳細は、管理サイトマニュアルを参照してください。)

※エージェントを利用する場合は、+browser Safety Manager for iOS をインストールする前に、必ずエージェント認証を行ってください。エージェントが認証されていない場合、+browser Safety Manager for iOS をインストールしても Web フィルタリング、Web 閲覧履歴、お気に入りなどのブラウザ関連機能を使用することはできません。エージェント認証についての詳細は、「エージェント認証を行う」24 ページを参照してください。

※構成プロファイルの設定により Safari を使用禁止にした場合、下記の機能が使用できませんのでご注意ください。

- ・ KDDI Smart Mobile Safety Manager のポータル画面
- ・ Web クリップ機能(Safari のブックマーク機能)

※KDDI Smart Mobile Safety Manager の構成プロファイルとエージェントをアンインストールしても、+browser Safety Manager for iOS はアンインストールされません。手動でアンインストールしてください。アンインストール方法は「アンインストールする」46 ページを参照してください。

※本機能はオプション機能です。ご契約いただいた場合のみご利用いただけます。オプション機能の詳細については、管理者にお問い合わせください。

インストールする	43
メイン画面	44
設定画面	45
アンインストールする	46

インストールする

インストール手順は下記 2 通りあります。

- ① 管理者から+browser Safety Manager for iOS が配布される場合
⇒「配信されたアプリケーションのインストールを行う」 55 ページを参考にし、インストールを行ってください。
- ② App Store から直接インストールを行う場合
⇒下記の手順に従って、インストールを行ってください。

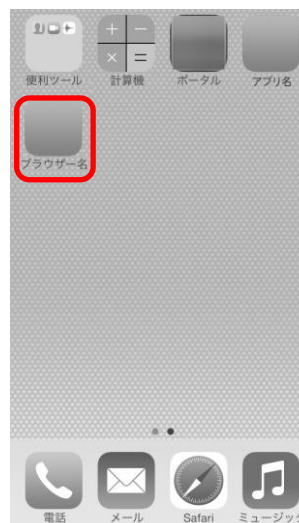
1 [App Store]から「+browser Safety Manager for iOS」をインストールします。

※手順は App Store のインストール手順に従ってください。

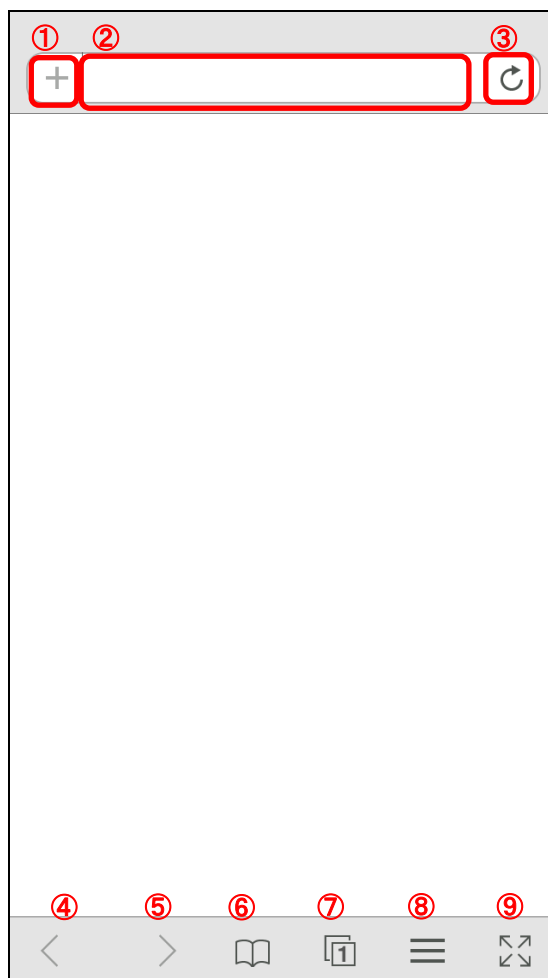


2 +browser Safety Manager for iOS がインストールされました。

アイコン(Browser)をタップし起動します。



メイン画面



項番	対象	説明
⑤	ブックマーク追加	現在閲覧しているページをブックマークに登録します。※
⑥	アドレスバー	閲覧しているページの URL が表示されます。
⑦	更新	閲覧しているページの更新をする際にクリックします。
⑧	前のページへ戻る	前のページへ戻ります。
⑨	次のページへ進む	次のページへ進みます。
⑩	ブックマーク一覧	ブックマークの一覧を表示します。
⑪	タブ一覧	タブ一覧を表示します。
⑫	設定	設定画面が表示されます。
⑬	拡大	メイン画面を拡大する場合にタップします。

※ブックマークへ登録できる URL 数やフォルダ数に制限はございません。

但し、ブックマークの URL 数やフォルダ数が多い場合、端末の画面表示が遅くなる可能性があります。

設定画面

メニュー画面の「設定」をタップすると表示される画面です。ブラウザのセキュリティ設定等を行います。

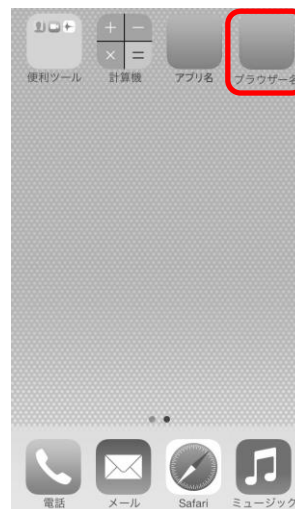
	設定	完了
	情報	
①	バージョン	1.1.0
②	通信日時	2014/11/19 15:43:34
	プライバシー	
③	Cookieを受け入れる	訪問先のみ >
④	パスワードを保存する	<input type="checkbox"/>
⑤	履歴を削除	
⑥	Cookieとデータを削除	
⑦	パスワードを削除	

項番	対象	説明
①	バージョン	+browser Safety Manager for iOS のバージョン情報が表示されます。
②	通信日時	管理サイトとの最後の通信日時が表示されます。
③	Cookie を受け入れる	Cookie の受け入れ許可設定を行います。以下より選択します。 ・しない ・訪問先のみ ・常に
④	パスワードを保存する	ブラウザ内で入力したパスワードを自動保存する設定を行います。
⑤	履歴を削除	ブラウザの履歴を削除します。
⑥	Cookie とデータを削除	Cookie、キャッシュ、フォームデータ、位置情報のデータを削除します。
⑦	パスワードを削除	パスワードのデータを削除します。

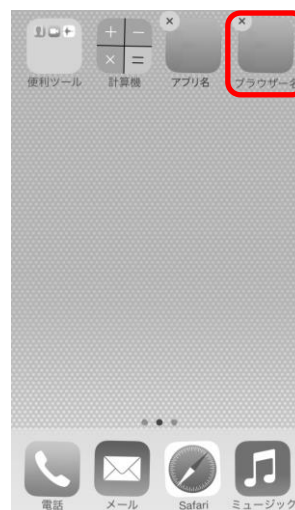
アンインストールする

下記手順に従ってアンインストールを行ってください。

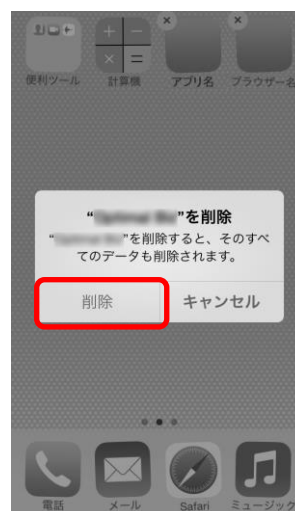
1 アイコン (Browser) を長押しします。



2 アイコン (Browser) の左上に [×] が表示されます。 [×] をタップします。



3 [削除] をタップします。



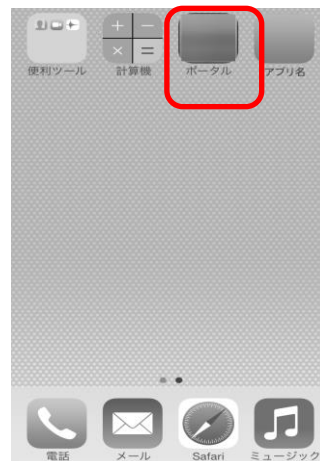
ユーザー情報の登録を行う

※デバイスマネジメントパック版ではご利用いただけません。

ライセンス認証(MDM 構成プロファイルインストール)時にユーザー情報の登録を行わなかった場合、一度設定したユーザー情報を変更したい場合は、下記手順に従って、ユーザー情報の登録を行います。

※管理サイトの Android ポータル設定が非表示に設定されている場合は、Android 端末からユーザー情報の登録を行うことはできません。また、[ポータル]も表示されません。

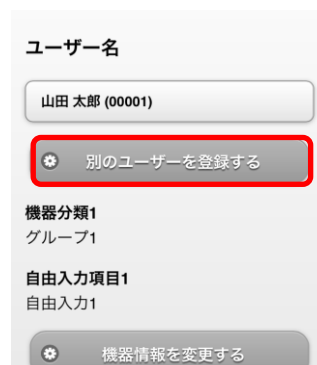
1 [ポータル]をタップします。



2 <<ユーザーが登録されていない場合>>
[ユーザーを登録する]をタップします。



<<ユーザーが既に登録されている場合>>
[別のユーザーを登録する]をタップします。



3

①必要事項を入力します。

②[登録する]をタップします。

※前の画面に戻る場合は[戻る](A)をタップします。

【企業名】
機器1 [0000] [0000]

ユーザー登録

社員番号

姓

名

(A) 戻る 登録する ②

4

ユーザー情報の登録が完了しました。

[OK]をタップします。

ユーザー登録

【企業名】
機器1 [0000] [0000]

ユーザー登録が完了しました。

山田 花子 (00002)

OK

利用規約

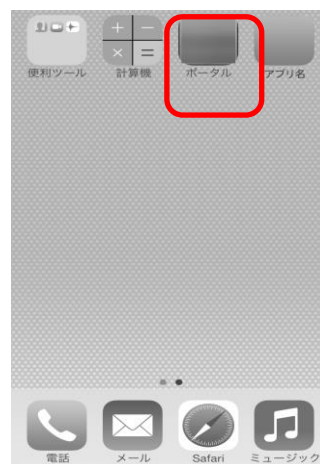
機器情報の登録を行う

ライセンス認証(プロファイルインストール)時に機器情報の登録を行わなかった場合、一度設定した機器情報を変更したい場合は、下記手順に従って、機器情報の登録を行います。

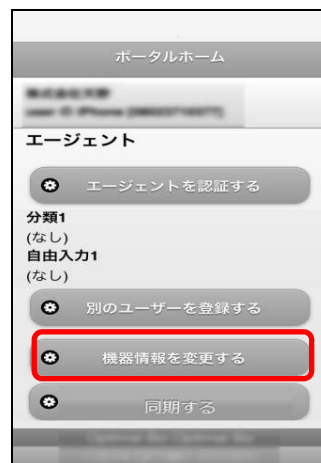
※管理サイトで機器カスタム項目が登録されていない場合は表示されません。機器情報登録の表示内容は設定により異なります。

※管理サイトの iOS ポータル設定が非表示に設定されている場合は、iOS 端末から機器情報の登録を行うことはできません。また、[ポータル]も表示されません。

1 [ポータル]をタップします。

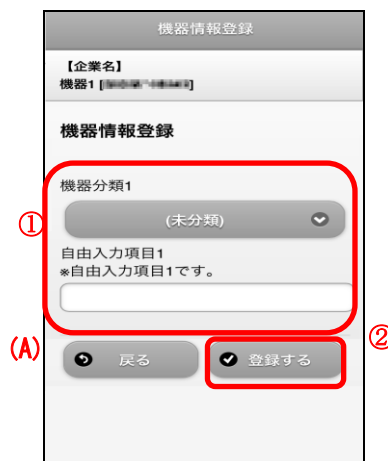


2 [機器情報を変更する]をタップします。

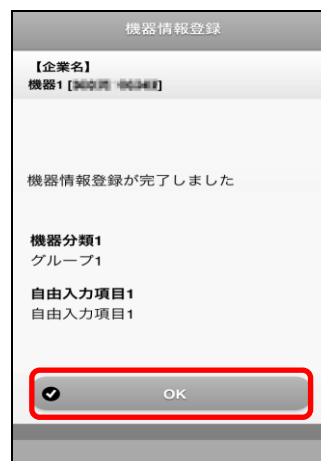


3 ①必要事項を入力します。
②[登録する]をタップします。

※前の画面に戻る場合は[戻る](A)をタップします。



- 4 機器情報の登録が完了しました。
[OK]をタップします。

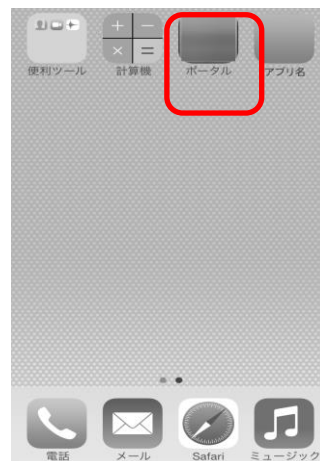


管理サイトとの同期を行う

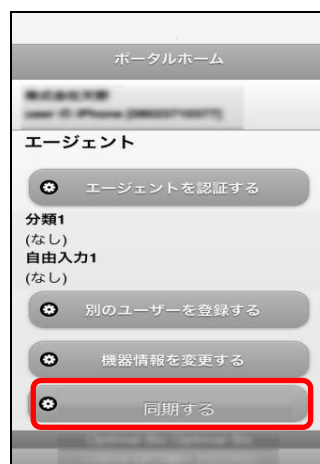
ポータルから管理サイトとの同期を行います。配信されたアプリケーションがインストールされない場合などは、管理サイトとの同期を行ってください。

※管理サイトの iOS ポータル設定が非表示に設定されている場合、配信されたアプリケーションのインストールや端末から機器情報の登録を行うことができません。また、[ポータル]も表示されません。

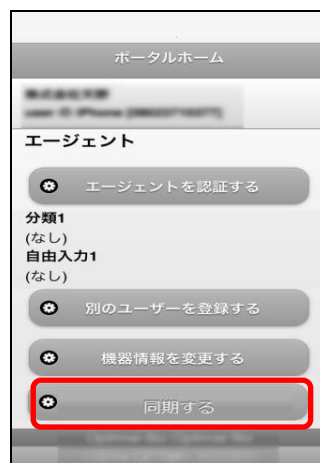
1 [ポータル]をタップします。



2 [同期する]をタップします。



3 同期が完了すると、[同期する]ボタンが再びアクティブになります。

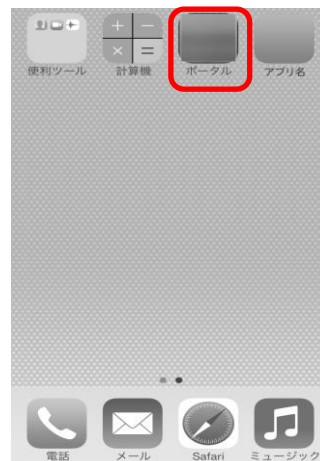


配信されたアプリケーションのインストールを行う

本サービスでは、管理サイトからアプリケーションが配信される場合があります。管理サイトから配信されたアプリケーションのインストールを行うには以下の操作を行います。

※管理サイトの iOS ポータル設定が非表示に設定されている場合、配信されたアプリケーションのインストールや端末から機器情報の登録を行うことができません。また、[ポータル]も表示されません。

1 [ポータル]をタップします。



2 [アプリをインストールする]をタップします。

※管理サイトからアプリケーションが1つも配信されていない場合、[アプリをインストールする]は表示されません。

※アプリケーション配信の設定は、「管理サイトユーザーマニュアル」の「メニュー設定項目 - iOS - アプリケーション配信」を参照してください。

配信アプリケーション一覧

⚙️ アプリをインストールする

配信構成プロファイル一覧

⚙️ 構成プロファイルをインストールする

エージェント

⚙️ エージェントを認証する

分類1

3 インストールしたいアプリケーションの[インストール]をタップします。

※オリジナルアプリの[インストール]をタップした場合、インストール確認メッセージが表示されますので、許可をしてください。インストールが開始されます。

※App Store アプリの[インストール]をタップした場合、App Store に接続されます。手順に従ってインストールを行ってください。

※配信されたアプリケーションがインストールできない場合、管理サイトとの同期を行ってください。詳細は 53 ページ「管理サイトとの同期を行う」を参照してください。

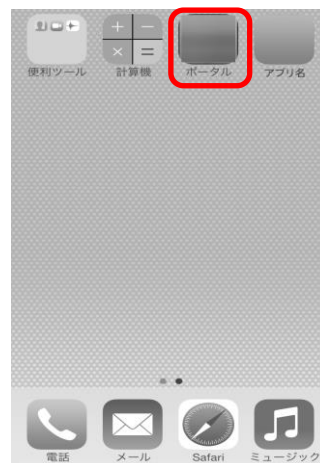


配信された構成プロファイルのインストールを行う

本サービスでは、管理サイトから構成プロファイルが配信される場合があります。管理サイトから配信された構成プロファイルのインストールを行うには以下の操作を行います。

※管理サイトの iOS ポータル設定が非表示に設定されている場合、[ポータル]は表示されません。

1 [ポータル]をタップします。



2 [構成プロファイルをインストールする]をタップします。

※管理サイトから構成プロファイルが1つも配信されていない場合、[構成プロファイルをインストールする]は表示されません。

配信アプリケーション一覧

⚙️ アプリをインストールする

配信構成プロファイル一覧

⚙️ 構成プロファイルをインストールする

エージェント

⚙️ エージェントを認証する

分類1



3 インストールしたい構成プロファイルの[インストール]をタップし、構成プロファイルのインストールを行います。

※アンインストールを行う場合は管理者の指示、または許可を得た上で行ってください。

VPP アプリケーションの割り当てを許可する

本サービスでは、VPP(Volume Purchase Program)を通じてアプリケーションが配布されることがあります。VPP で配信されるアプリケーションのインストールを行う前に、以下の操作で VPP アプリケーションによる割り当てを許可する必要があります。

1 VPP アプリケーションの割り当て許可を求めるウインドウが表示されます。[続ける]をタップします。

※サインインしていない場合は、サインインを求めるウインドウが表示されます。[続ける]をタップしてサインインしてください。

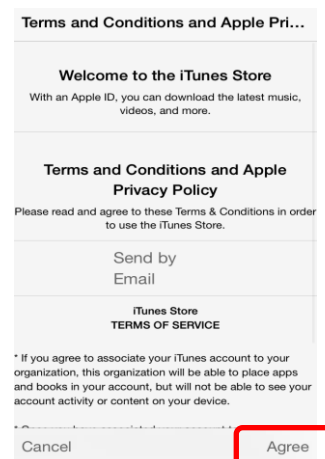
※割り当てを許可しない場合、8 時間が経過した後の再同期時に再度確認画面が表示されます。割り当てが許可されるまで、VPP アプリケーションの配布は行われません。



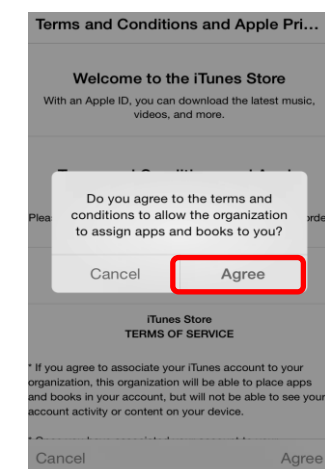
2 Apple 社からのアプリに関する使用条件とのプライバシーポリシーが英語で表示されます。

一番下までスクロールして、[Agree]をタップします。

※使用条件とプライバシーポリシーの表示言語は端末の地域設定により異なる場合があります。



3 確認ウインドウが表示されるので、[Agree]をタップします。



4

割り当て許可が完了しました。[OK]をタップします。



MDM 構成プロファイルのアンインストールを行う

アンインストールを行う場合は管理者の指示、または許可を得た上で行ってください。

下記の手順に従って MDM 構成プロファイルのアンインストールを行います。

1 [設定]をタップします。



2 [一般]をタップします。



3 [プロファイル]をタップします。



4 一覧からサービス名(KDDI Smart Mobile Safety Manager)をタップします。

※インストールされているプロファイルが1つの場合はこの画面は表示されません。



5 [削除]をタップします。



6 [削除]をタップします。
※パスコードが設定されている場合は、パスコード入力画面が表示されますのでパスコードを入力してください。

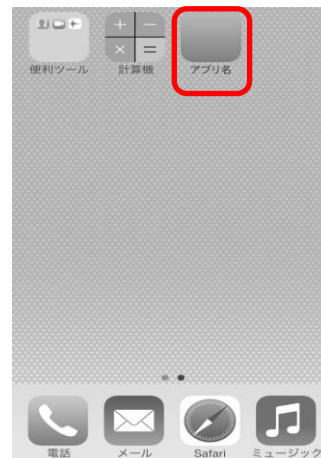


エージェントのアンインストールを行う

本章は iOS 端末側に iOS エージェントのインストールをしている方が対象です。iOS エージェントのインストール方法は「エージェント認証を行う」24 ページを参照してください。

下記の手順に従ってエージェントのアンインストールを行います。

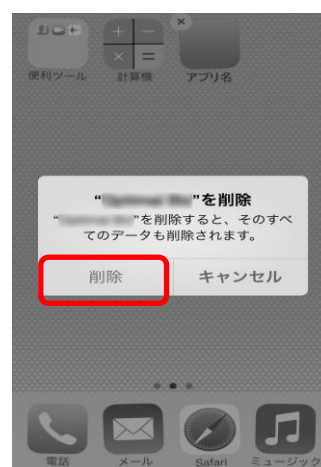
- 1 エージェントアイコン(KDDIManager)を長押しします。



- 2 エージェントアイコン(KDDIManager)の左上に[×]が表示されます。[×]をタップします。



- 3 [削除]をタップします。



困った時は…

よくある質問と回答	68
用語集	70

よくある質問と回答

Q1 ライセンス認証が行えない

A1 ①インターネットに接続できていますか？

ライセンス認証を行うにはインターネットへ接続できている必要があります。
ご使用の iPhone/iPad がインターネットに接続できているかご確認ください。

②企業コードや認証コードが間違っていますか？

入力した企業コードや認証コードが正しくないとライセンス認証を完了することができません。
入力した企業コードまたは、認証コードをもう一度確認してください。

③ライセンス数は足りていますか？

お申し込みの内容により、お申し込みのライセンス数を超えてのライセンス認証を行うことはできません。
お申し込みのライセンス数については管理者または、オペレーターにお問い合わせください。

④Jailbreak された機器ではありませんか？

Jailbreak(iOS 端末を不正に改造)された機器では、ライセンス認証が完了しない可能性があります。
管理者または、オペレーターにお問い合わせください。

Q2 MDM 構成プロファイルへの設定は行ったが管理サイトに表示されない

A2 インターネットに接続できていますか？

管理サイトへ反映させるためにはインターネットへ接続できている必要があります。
ご使用の iPhone/iPad がインターネットに接続できているかご確認ください。

Q3 MDM 構成プロファイルのインストール中に途中でキャンセルをしてしまいました。

A3 再度、最初から MDM 構成プロファイルのインストールを行ってください。

MDM 構成プロファイルのインストール方法は 13 ページ「ライセンス認証(MDM 構成プロファイルのインストール)を行う」を参照してください。

Q4 MDM 構成プロファイルのインストール中に「サーバ証明書は無効です。」というメッセージが表示されました。

A4 iPhone/iPad の日時設定が正しく設定されていない場合があります。iPhone/iPad の日時設定を正しく設定し直してください。

Q5 MDM 構成プロファイルを誤って削除してしまいました。

A5 再度、iPhone/iPad の登録を行ってください。

詳細は、13 ページ「ライセンス認証(MDM 構成プロファイルのインストール)を行う」を参照してください。

Q6 再度ライセンス認証を行いたい場合には？

A6 13 ページ「ライセンス認証(MDM 構成プロファイルのインストール)を行う」を参照し、再度、ライセンス認証を行ってください。

Q7 機種変更を行う場合のライセンス認証手順はどうしたらよいでしょうか？

A7 まず、機種変更前の端末で以下を行います。エージェントのアンインストールは、エージェントをご利用されている場合のみ行ってください。

62 ページ MDM 構成プロファイルのアンインストールを行う

65 ページ エージェントのアンインストールを行う

続いて、機種変更後の端末で以下を行います。エージェントのインストールは、エージェントをご利用になる場合のみ行ってください。

13 ページ ライセンス認証(MDM 構成プロファイルのインストール)を行う

24 ページ エージェント認証を行う

用語集

用語	意味
エージェント	機器の制御を行うために、機器に常駐して動作するアプリケーションのこと。
オペレーター	本製品を提供する企業でサポートを行う担当者のことです。
管理者	本製品を利用する企業内で本製品の管理を行うユーザーのことです。管理サイトを利用し、iPhone/iPad、Android 端末の管理・運用を行います。
企業コード	企業毎に割り振られた企業を表す英数字のコードです。本製品を利用する企業を識別するために使用します。
認証コード	本製品のライセンス認証に必要な英数字のコードです。企業コードと合わせて確認することで本製品の使用が可能となります。
ブラウザ	インターネットをみるためのアプリのことです。 (例：Safari など)
MDM 構成プロファイル	本製品を使用するにあたってインストールが必須のプロファイルです。ライセンス認証とは本プロファイルをインストールすることを指します。
構成プロファイル	管理サイトから配信された構成プロファイルを指します。iPhone/iPad、に対して制限を設ける際に利用します。